

テオウマ橋 (Teouma Bridge)

■ 橋の概要

テオウマ橋は、バヌアツ共和国(Republic of Vanuatu)の首都ポートビラ(Port Vila)の近郊を流れるテオウマ川に架かる橋梁です。旧テオウマ橋は、2002 年 1 月に発生したマグニチュード 7.2 の地震により被災したため、近接するレンタパオ橋とともに日本の無償資金協力により架け替えが行われ、2005 年 2 月に完成しました。

上部工はワーレントイプボニートラス形式で、スパンは約 31m です。現地では製作・建設に必要な設備や資機材がないため、上部工はベトナムで製作され、海上輸送の後、現地で組み立て・架橋が行われました。なお、開通式の際には、地元の伝統に則り、神に捧げる犠牲とするため「豚殺しの儀式」が行われております。

■ 撮影者からひとこと

バヌアツ共和国は、南太平洋に位置する人口約 20 万人の小島嶼国です。知名度が低く、また、日本からの直行便もないため、日本からの旅行者は年間約 600 人と、隣接する仏領ニューカレドニアへの旅行者(約 2.6 万人)の 2 %に過ぎません。

しかしながら、バヌアツには南太平洋で最も美しいといわれるシャンパンビーチや、バンジージャンプの起源であるランドダイビングなど、豊かな自然や伝統が残されており、また、旧宗主国であるフランスの影響からか、おいしいレストランも少なくありません。事実、オーストラリアやニュージーランドからは、毎年多くの旅行者がバヌアツを訪れております。

皆さんも、機会がありましたら是非この「南太平洋の隠れ家」バヌアツを訪れてみてください。

■ 撮影者

バヌアツ共和国派遣 JICA 長期専門家
七澤 利明

P.O.Box044, Port Vila, Vanuatu

TEL: +678 22888

E-mail: nanazawa@vanuatu.gov.vu

■ テオウマ橋



■ 被災した旧テオウマ橋



■ 上部工の架設



■ 開通式；豚殺しの儀式

